



2020年3月期 報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



ごあいさつ

社長の乾康之でございます。

2019年度をもちまして、当社におけるはじめての中期経営計画が終了いたしました。

2020年度以降におきまして、経営の基本方針は前中期経営計画と変わりなく、

- ①資産の力を事業の力に
- ②カイゼンは宝
- ③「らしさ」の追求

という3点を定め、不況を乗り切り成長するための自助努力を推進していく所存です。

ステークホルダーの皆様には、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 乾 康之

当期の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかに景気回復が続いたものの、米中貿易摩擦の長期化や、英国のEU離脱問題などに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により景気の減速懸念が高まり、先行きの不確実性が高い状況にあります。

このような状況下、当連結会計年度における当社グループの業績は、外航海運事業におけるスモールハンディ船市況の下落等により、売上高は前年同期比1,221百万円減収(△5.3%)の21,787百万円、営業損益は前年同期比1,280百万円減益の884百万円の損失、経常損益は前年同期比1,029百万円減益の1,080百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比558百万円減益(△87.4%)の80百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績の概況

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるスモールハンディ船市況は、2020年1月から開始した燃料油環境規制に備え、操船や市況に混乱を来す場面があり、9月以降軟調に推移いたしました。また、年度終盤に発生した新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、海運市況はさらに下落しました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比1,150百万円減収(△8.3%)の12,734百万円、セグメント損益はスモールハンディ船市況の深刻な下落等により、2,601百万円の損失(前年同期は1,196百万円の損失)となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期をやや上回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、連結子会社であるイヌイ運送株式会社の引越し取扱高の減少等により、売上高は前年同期比107百万円減収(△2.4%)の4,383百万円、セグメント利益は前年同期比3百万円減益(△7.0%)の45百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は低水準の空室率で推移しており、賃料水準も小幅な上昇が続いております。また、東京23区の賃貸マンション市況は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきまし

ては、既存賃貸物件の安定した高稼働により、売上高は前年同期比36百万円増収(+0.8%)の4,669百万円、セグメント利益は修繕費や減価償却費の減少等により前年同期比197百万円増益(+8.4%)の2,553百万円となりました。

今後の見通し

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が継続しており、収束の時期が見通せず、国内外経済への影響は甚大となることが想定され、今後の先行きへの懸念が非常に高まっています。このような状況下、2021年3月期の連結業績予想につきましては、業績に与える不確定要素が大きく、現時点ではその影響額を合理的に算出することが困難であると考え、未定とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

各事業セグメントの今後の課題と取り組みについては次のとおりです。

外航海運事業においては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、国際間貿易の縮小に直結しました。これによる強制的な需要減は、船舶過多の状態となり、市場は混乱しております。5月に入り、国際港の活動が活性化する兆しがありますが、世界のどこかで、新型コロナウイルスの第二波が襲った場合も、当社の外航海運業は大きな影響を受ける可能性があります。今はまだその時期にないと考えますが、市場の底値が続くと判じられる場合には、一定以上の損失を発生させない係船計画を実行せねばなりません。それまでの間は、乗組員と航行の安全に努めながらも、友好取引先を中心にした効率配船に努めてまいります。

倉庫運送事業においては、国内経済活動全般が抑制されることから荷動きが鈍化されることも想定されます。荷主企業の物流の悩みが、大きく複雑化する環境ではありますが、それらの物流の悩みの解決策を提供することを主眼に事業を推進してまいります。やや深刻なのがイヌイ運送の引越業です。需要そのものが大幅に減退するなか、先の見通しが大変に難しい状況です。既存取引先への今後の動向についての聴取もままならない中、社員就労環境の維持に努めながらも、出費を最低限に抑え、需要の喚起を待つしかない状況です。

不動産事業においては、職住近接の効用がますます求められるなか、当社施設住戸への需要に衰えはございません。集客が困難となった、ごく一部の店舗テナントには、賃料の減免機会を提供しておりますが、影響は限定的なものです。

株式会社大島造船所にて新造船2隻を竣工



KEN ANN



KEN BOS

2019年8月23日及び11月6日、長崎県の株式会社大島造船所にて2隻の新造船を竣工いたしました。船名は「M/V KEN BOS」及び「M/V KEN ANN」、載貨重量トン数は共に36,644MTになります。この2隻の新造船の特徴として、「SOxスクラバー」という排ガス浄化装置を搭載していることが挙げられます。「SOxスクラバー」とは、船舶から排出される排気ガス中のSOx（硫黄酸化物）を除去する為の装置です。

2020年1月1日より、全世界的に船舶の燃料油に含まれる硫黄分濃度を現状の3.5%以下から0.5%以下とする国際的なSOx規制強化が開始されましたが、このSOx規制により、海運業界に大きな影響を及ぼすことが想定されておりました。そのような状況下の中、大きな混乱を避けるためには、「SOxスクラバー」の搭載が最も有効な手立てだと考え、既存船の「KEN JYO」に加え、「KEN BOS」及び「KEN ANN」の計3隻への搭載を決定いたしました。

当社では、上記のような国際的な新規制への対応により、今後も環境に配慮した船舶の運航に努めてまいります。

単位：百万円（記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。）

連結貸借対照表(要旨)

科 目	当連結会計年度 2020年3月31日現在
(資産の部)	
流動資産	12,951
固定資産	40,102
有形固定資産	36,017
無形固定資産	284
投資その他の資産	3,800
資産合計	53,054
(負債の部)	
流動負債	9,345
固定負債	24,722
負債合計	34,068
(純資産の部)	
株主資本	18,835
資本金	2,767
資本剰余金	11,620
利益剰余金	5,561
自己株式	△1,114
その他の包括利益累計額	150
その他有価証券評価差額金	253
繰延ヘッジ損益	△102
純資産合計	18,985
負債純資産合計	53,054

連結損益計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	21,787
売上原価	21,302
売上総利益	484
販売費及び一般管理費	1,368
営業損失	884
営業外収益	207
営業外費用	404
経常損失	1,080
特別利益	1,309
特別損失	96
税金等調整前当期純利益	131
法人税、住民税及び事業税	9
法人税等調整額	40
当期純利益	80
親会社株主に帰属する当期純利益	80

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87
現金及び現金同等物の増減額	△2,202
現金及び現金同等物の期首残高	11,547
現金及び現金同等物の期末残高	9,345

会社概要

会社の概況（2020年3月31日現在）	
資本金	2,767百万円 (東京証券取引所市場第一部上場)
本社	東京都中央区勝どき一丁目13番6号
従業員数	連結168名、単体63名
主要な事業内容	●外航海運事業 船舶の自社運航による貨物輸送、船舶貸渡業
	●倉庫・運送事業 倉庫、荷役、貨物運送
	●不動産事業 施設賃貸

取締役・監査役（2020年6月19日現在）	
代表取締役社長	乾 康 之
取締役	乾 隆 志
取締役	苦 瀬 博 仁※
取締役	川 崎 清 隆※
取締役	神 林 伸 光※
常勤監査役	加 島 昭 久
監査役	田 中 正 人※
監査役	山 田 治 彦※
(注) ※印は社外取締役及び社外監査役であります。	

執行体制（2020年6月19日現在）

社 長	乾 康 之
専務執行役員	乾 隆 志

グループ構成

- 乾汽船株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)8211
外航海運事業、倉庫・運送事業及び不動産事業を行っております。

主な連結子会社

- DELICA SHIPPING S.A.
Banco Aliado Tower,Ricardo Arias Street, Suite 12-B,
Panama City, Republic of Panama
船舶の所有及び貸渡業を行っております。
- イヌイ運送株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲二丁目1番10号
☎03(3528)1254
主に法人向けの引越業(転勤引越、事務所移転)を行っております。
- イヌイ倉庫オペレーションズ株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)6110
倉庫内作業(入出庫作業・在庫管理業務等)及び配送業務を行っております。

株式情報

株式の状況（2020年3月31日現在）

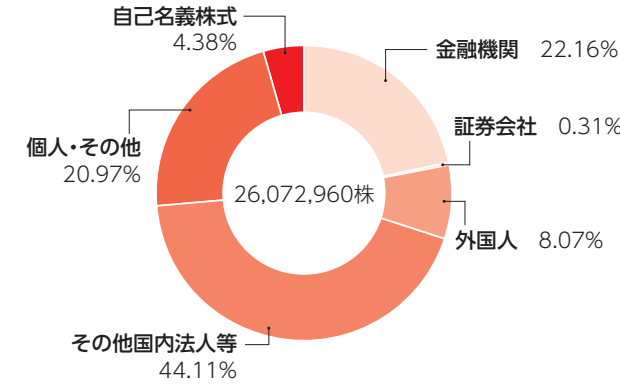
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	24,930,281株 (自己株式1,142,679株を除く)
株主数	5,774名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率
アルファレオホールディングス合同会社	7,563	30.34%
東京海上日動火災保険株式会社	1,283	5.15%
松岡冷蔵株式会社	962	3.86%
乾 民治	902	3.62%
株式会社三井住友銀行	848	3.40%
乾 英文	698	2.80%
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	555	2.23%
みずほ信託銀行株式会社	501	2.01%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	488	1.96%
尾道造船株式会社	473	1.90%

(注)持株比率は当社が保有する自己株式(1,142,679株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、株主の皆様のお役にたてるよう、決算情報をはじめ、決算説明会の模様などの会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.inui.co.jp/>

TOP画面



IR画面



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要ある場合は、 あらかじめ公告した日
公告方法	当社のホームページに掲載。 (http://www.inui.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社の ホームページに掲載することができない場合は、 日本経済新聞に掲載。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

当社は、単元株制度を採用しており、1単元は100株です。
単元未満株式(1～99株)は議決権がなく、また証券市場
にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律及び当社定款・株式
取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取・買増請求
制度をご利用いただけます。

株式に関する各種手続き、問い合わせ先

1.証券口座に株式をご所有の株主様

お取引証券会社にお問い合わせください。

2.特別口座に株式をご所有の株主様

下記の、特別口座管理機関にお問い合わせください。

・旧イヌイ倉庫の株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

・旧乾汽船の株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)



〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号 プラザタワー勝どき
TEL: 03(5548)8211(代) <http://www.inui.co.jp/>

